

【企業紹介】

同社はベトナム国内首位級の不動産事業を中核とする企業集団である。国際的競争力のある水準のサービスによって、ベトナムでは確固たるブランドを構築している。事業領域拡大に積極的で、ホテルやリゾートの開発・運営を中心としたホスピタリティ事業、高度医療サービスを中核としたヘルスケア事業のほか、EV（電気自動車）の生産販売を中核とする産業事業を傘下に持つ。

【2026 年 4－6 月期業績】

2026 年 4－6 月期の営業収入は前年同期比 162.0%増の 117.9 兆 VND（ベトナムドン）だった。ハイエンド住宅を中心に開発及び販売が好調に推移していることから不動産開発・販売セグメントの営業収入が同 340.6%増の 67.0 兆 VND と大幅に増加した。産業事業の営業収入は同 94.6%増の 33.6 兆 VND となった。EV（電気自動車）の納車台数が同 58%増の 5.7 万台、電動スクーターの納車台数が同 311%増の 28.6 万台と伸びて産業セグメントの営業収入を押し上げた。四輪

車と二輪車共にベトナム国内市場において、競合他社を圧倒する出荷台数を達成したほか、アセアン市場での存在感を高めている。ホスピタリティ、ヘルスケア、教育、その他の事業も堅調な国内消費活動（旅行やレジャー需要の増加）やベトナムを訪れる外国人の増加によって増収基調を維持した。

税前利益は同 486.9%増の 22.1 兆 VND となった。税引後利益は同 542.9%増の 14.7 兆 VND となり、純損益は 10.1 兆 VND の黒字に転換した。豊富な受注残の順調な消化によって不動産開発・販売事業の税前利益は同 667.0%増の 39.7 兆 VND となって全体を牽引した。一方、産業事業の税前損益の赤字額は前年同期の 11.4 兆 VND から 31.7 兆 VND へ拡大している。市場開拓費用や研究開発費用といった先行投資負担が大きいようであり、依然として損益分岐点売上高の達成にはかなり距離がある様子が窺える。ホスピタリティ事業の税前損益が黒字を維持し、同 153.2%増の 5,047 億 VND となった。ヘルスケア事業や教育事業は振るわなかった。不動産開発・販売事業が産業事業などの赤字をカバーするという収益構造に変化はないようだ。なお、同社は 2026 年 12 月期について、営業収入を前期比 46%増の 485 兆 VND、税引後利益を同 3.2 倍の 35 兆 VND と計画している。1－6 月累計実績の進捗率は営業収入が 46%、税引後利益が 58%となっている。計画の進捗は順調で、特に利益面では計画を上回っている可能性がある。

図表1 四半期業績の推移（単位 十億VND）

	2025年 4-6月期	2025年 7-9月期	2025年 10-12月期	2026年 1-3月期	2026年4-6月期	
						前年同期比 (%)
営業収入	45,021.5	39,245.3	163,159.4	104,352.0	117,936.0	162.0
不動産開発・販売	15,208.0	7,807.8	102,044.8	60,187.7	67,008.9	340.6
ホスピタリティ	2,806.9	3,231.8	3,215.4	3,743.1	3,467.3	23.5
ヘルスケア	1,355.9	1,353.6	1,621.2	1,380.8	1,641.4	21.1
教育	1,374.3	1,407.6	2,080.1	2,068.1	1,567.8	14.1
産業	17,300.4	17,807.6	41,304.2	28,545.1	33,662.3	94.6
その他	10,244.9	10,470.5	14,658.0	11,320.4	10,357.7	1.1
連結調整	-1,978.1	-2,833.6	-1,764.1	-2,893.1	230.5	-
税前利益	3,777.1	4,024.4	11,116.8	11,536.7	22,168.9	486.9
不動産開発・販売	5,182.2	648.0	38,961.7	31,374.6	39,746.2	667.0
ホスピタリティ	199.3	97.0	-285.0	515.5	504.7	153.2
ヘルスケア	-178.5	-112.5	-129.5	-351.5	-348.9	赤字拡大
教育	-100.0	-169.7	270.5	344.4	-236.9	赤字拡大
産業	-11,450.9	-19,146.7	-21,464.6	-17,655.1	-31,762.0	赤字拡大
その他	1,999.7	1,711.5	3,017.9	784.8	1,220.2	-39.0
連結調整	-733.7	405.9	-23.9	119.4	-34.0	-
配賦不能損益	8,743.9	20,706.1	-9,230.1	-3,595.3	13,079.6	49.6
税引後利益	2,296.5	3,025.3	3,581.3	5,610.8	14,764.0	542.9
純利益	-940.9	640.2	6,768.4	7,267.0	10,011.6	黒字転換

注1 セグメントの数値は監査前のNet Total Salesの数値を用いているが、売上高、税引前利益、税引後利益、純利益の数値は可能な限り監査済みの数値を用いている。そのため、セグメントの合計と差異が生じる場合がある

出所 会社資料をもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人資産運用業協会

主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より 180 日

News20260818

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。

ビンググループ(VIC)



《株価の動向》

同社の株価と VN 指数を 2025 年末の終値を 100 としてそれぞれを指数化したものが図表 2 である。同社の株価は、2025 年の大幅な上昇の反動もあり、4 月まではアンダーパフォーム気味に推移していたが、4 月以降に株価が上昇基調に転じた結果、アウトパフォームを続けている。8 月 17 日時点で VN 指数が 2025 年末比 3% の下落となっているのに対し、同社の株価は同 17% の上昇となっている。8 月 17 日の終値 198,000VND で計算した時価総額は 1,536 兆 VND であり、この水準は 2025 年 12 月期実績の純利益 13.4 兆 VND の 115 倍となっている。

同社は産業事業の収益力改善を図るため、産業事業の保有する生産設備を投資家グループに売却した。これによって 7-9 月期以降に産業事業の固定費負担軽減が見込まれ、一定の採算改善効果が見込まれる。しかし、欧米を中心に広げた販売ネットワークの立て直しなど課題はまだ残っていると考えられる。

ベトナム株式市場の格上げに絡み、時価総額の大きな同社株式の需給関係がひっ迫するのではないかという思惑や、不動産開発事業を中心に中長期的な成長期待が高まったことが株価パフォーマンスにポジティブな影響をもたらしたとみられる。また、同社はベトナム国内での高速鉄道建設といったインフラ事業にも積極的に動く姿勢を見せており、その収益化の期待も高まっているようだ。

図表2 株価推移



ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人資産運用業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より 180 日

News20260818

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。